

1 認知症を理解する

1 認知症とは？

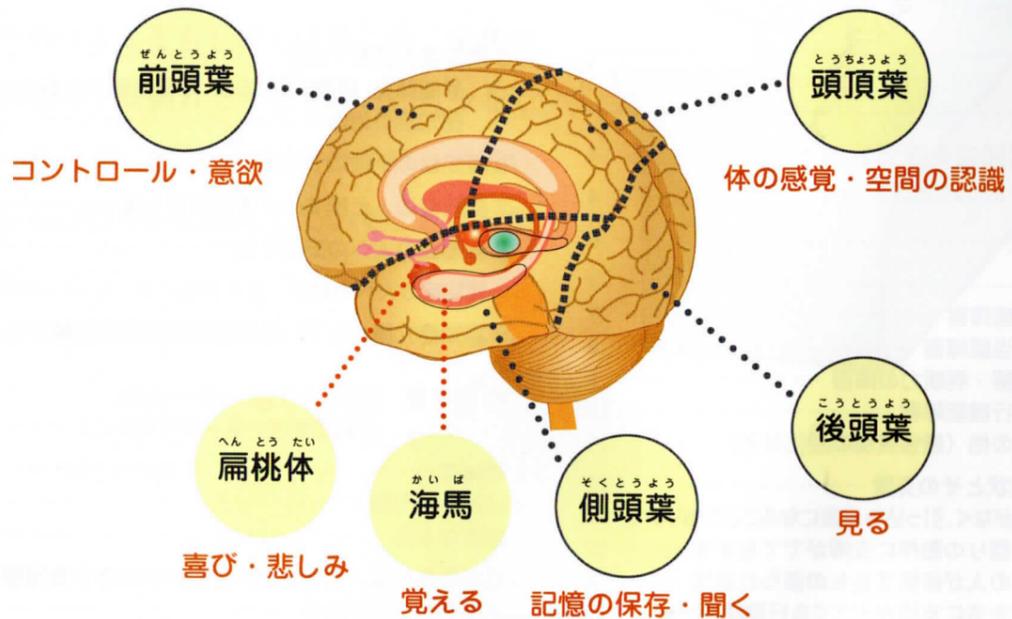
脳は、人間の活動をコントロールしている司令塔です。認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったりして、脳の司令塔の働きに不都合が生じ、さまざまな障害が起こり、生活する上で支障が、およそ6カ月以上継続している状態を指します。

脳のはたらき

脳は、記憶（覚える・思い出すなど）、感覚（見る・聞くなど）、思考（理解・判断など）、感情（喜び・悲しみなど）、からだ全体の調節（呼吸・睡眠・体温など）といった、生きていくために必要なほとんどののはたらきをコントロールしています。

これらの身体活動を司る機能が脳にあります。

脳の大部分をしめる大脳は、左右の大脳半球にわかれます。大脳の表面をおおっているのが大脳皮質で、前頭葉、頭頂葉、側頭葉、後頭葉の4つのブロックにわかれて、それぞれ異なった機能を分担しています。



認知症を引き起こすおもな病気

アルツハイマー病 ... 大脳皮質連合野や海馬領域を中心にβアミロイドというタンパク質のゴミ、続いてタウタンパクが神経細胞内に蓄積し、神経細胞のネットワークが壊れると発症します。
 比較的早い段階から記憶障害、見当識障害のほか、不安・うつ・妄想が出やすくなります。
 [約50%を占める]

レビー小体型認知症 ... パーキンソン症状や幻視を伴い、症状の変動が大きいのが特徴です。[約15%を占める]

前頭側頭型認知症 ... 司令塔役の前頭前野を中心に傷害されるため、がまんしたり思いやりなどの社会性を失い、「わが道を行く」行動をとる特徴があります。

脳血管性認知症 ... 脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などのために、神経の細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなり、その部分の神経細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れて、意欲が低下したり複雑な作業ができなくなったりします。[約15%を占める]

その他 ... クロイツフェルト・ヤコブ病、AIDSなどの感染症やアルコール依存症も認知症の原因となる病気です。[約20%を占める]

【認知症の症状を示す疾患】

● 治療可能な疾患 脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、甲状腺疾患

変性疾患

脳の細胞がゆっくりと死んで脳が萎縮する

